

小さな減築／小さな加築

地域との交流性・親和性に配慮した住宅再生のためのアイデア

冬期の集熱のための開口部

夏期の排熱のための開口部

居間からすぐに出られる
インナーテラスを設置。
外部との交流親和を高める
工夫を小さな減築で行う

小さな加築でスロープを設置。
玄関位置を移動することで設置
を可能とできた

小さな加築で2階と1階の
テラスをつなぐ外階段を設置。
接地性を高め、地域との接続・
交流性を高める工夫

◆居住者ライフスタイル
60歳後半の、仕事をリタイアした夫と妻の高齢2人世帯を想定しています。気力体力共に問題なく、「人生はまだこれから」と考えている高齢夫婦世帯を想定しています。

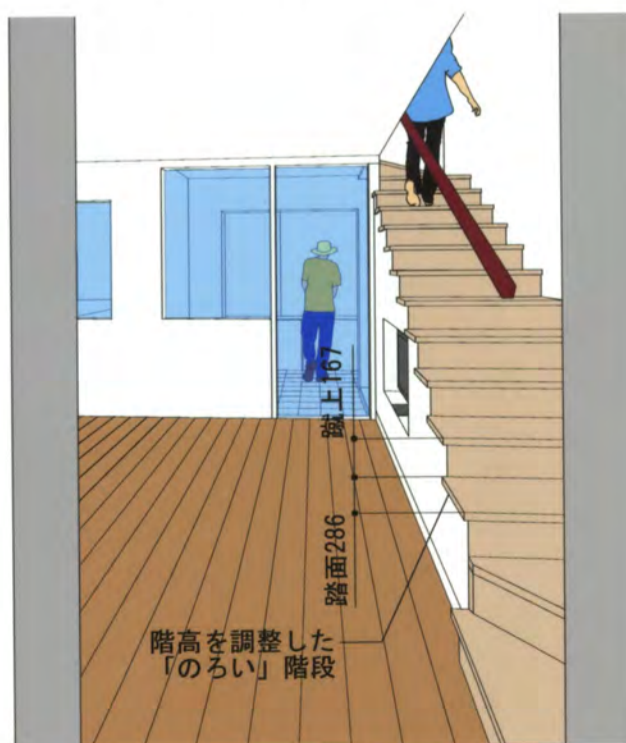
◆バリアフリーのリノベーションアイデア
南側のスパンの長い構面位置に階段を移動し、階段長さが長くなるようにします。また既存木造床を撤去し土間スラブを設置する事により、1FLを乾式床とします。これに伴い階段昇降の負担を軽減するために、階高2500mmとするように床高をアップします。これにより階段の踏面286mm、蹴上167mmの昇降負担を低減した「のろい」階段とすることができま。

◆省エネのリノベーションアイデア
小屋裏を集熱槽に改造し、その温熱空気を床下の蓄熱槽に送ることで冬期のパッシブ暖房とします。また階段撤去後の吹抜を利用した重力換気による夏期の排熱を行います。

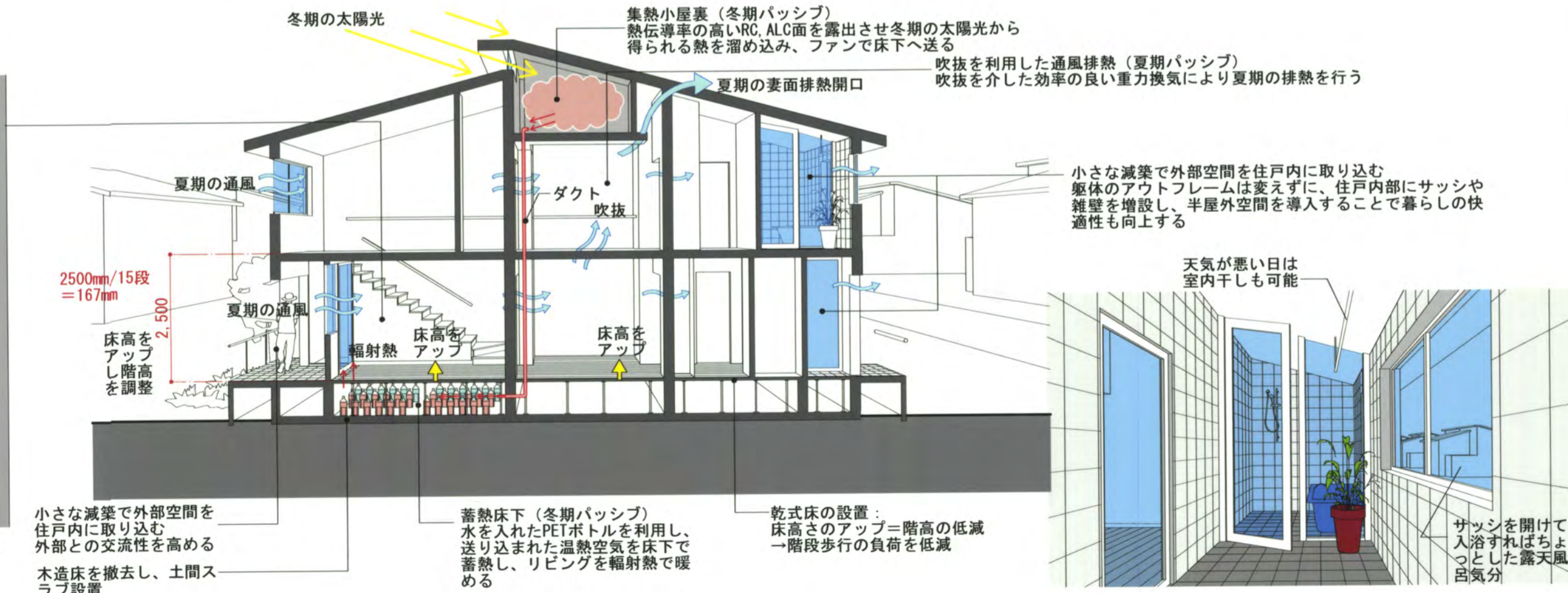
◆直接工事費概算内訳

解体工事：住戸内内装、RC雑壁、小屋裏撤去等	85万円	内装・建具工事：内装、階段、内部建具等	205万円
躯体工事：耐圧盤、スロープ、外階段等	180万円	家具工事：下駄箱、クロゼット等	150万円
サッシ・ガラス工事：サッシ交換、ペアガラス	95万円	水廻り工事：トイレ、洗面、浴室	470万円
木工事：間仕切り等	200万円	電気・給排水・換気・ガス工事	120万円
左官工事：ポーチ、テラス等	40万円	仮設工事：直工費×5%	85万円
断熱工事：耐圧盤裏打込、壁、小屋裏壁・床等	70万円	直接工事費合計	1,700万円

■リノベーションアイデア概念図



階段長さが最も長く取れるスパン部に階段を移動することで、踏面/蹴上をゆるやかに調整する。上下昇降の負担を軽減する



小さな減築で外部空間を住戸内に取り込む外部との交流性を高める
木造床を撤去し、土間スラブ設置

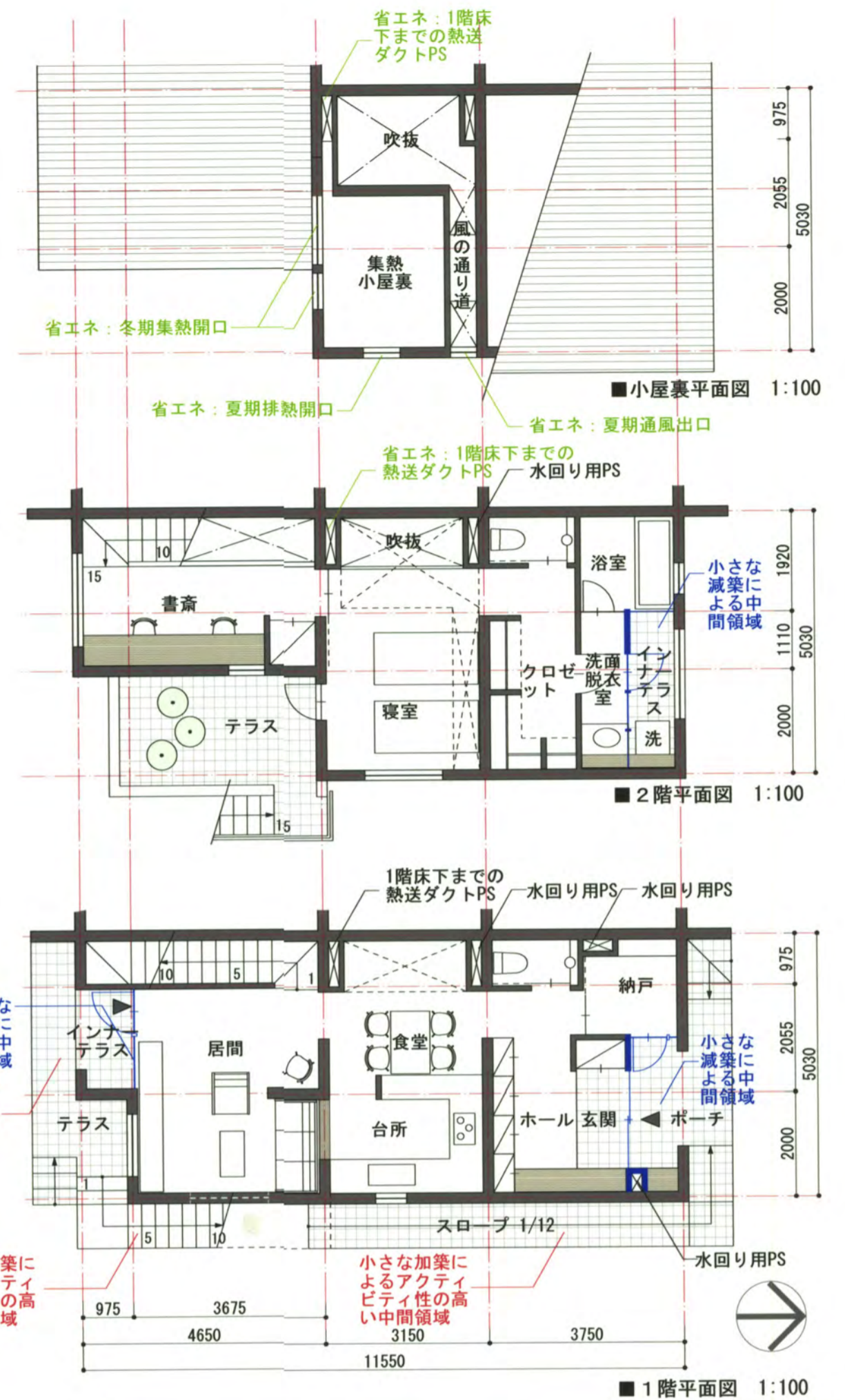
蓄熱床下 (冬期パッシブ)
水を入れたPETボトルを利用し、送り込まれた温熱空気を床下で蓄熱し、リビングを輻射熱で暖める

乾式床の設置：
床高さのアップ＝階高の低減
→階段歩行の負担を低減

小さな減築で外部空間を住戸内に取り込む
躯体のアウトフレームは変えずに、住戸内部にサッシや雑壁を増設し、半屋外空間を導入することで暮らしの快適性も向上する

天気が悪い日は室内干しも可能

サッシを開けて入浴すればちょうどとした露天風呂気分



小さな減築による中間領域
小さな加築によるアクティビティの高い中間領域

小さな加築によるアクティビティの高い中間領域

◆再生コンセプト

高齢者の暮らしは開放的であり、**地域との接続**が必要だと思います。しかし対象住宅Bは、RC造ゆえの閉鎖性が感じられ、**交流性の乏しさ**を想起せざるを得ません。閉鎖的な「ハコ」は「内」-「外」が対立的な状況にあるゆえに閉鎖的なものであり、当案ではこれに「**中間領域**」を導入する事で、この対立状況の解消を目指しています。中間領域を導入し対立的な領域関係を緩和させ、閉鎖的な「ハコ」から**開放的な「イエ**」に再生し、**地域との交流性・親和性の高い住宅**を創出します。

中間領域の導入は**小さな減築**と**小さな加築**の概念で展開します。

■概念図

◎内部と外部の対立的状況
◎中間領域の導入で対立的状況を緩和

- ◆**小さな減築**：
躯体のアウトフレームは変えずに躯体内部に外部空間を取り込みます。サッシや雑壁を躯体内に設置する事で半屋外的な中間領域を躯体内側に導入し、外部と内部の交流性を高めます。
→インナーテラス、玄関ポーチ空間
- ◆**小さな加築**：
「ハコ」のひとつかわ外側にアクティビティの高い要素を増設します。「ハコ」の内側の暮らしがにじみ出てくる領域を導入します。
→充実したポーチ廻り空間、テラス空間、1階と2階のテラスをつなぐ外階段